

東京  通信
TOKYO

計画行政学会から最優秀賞 一步会の新開理事長

遍路道の美化活動報告 札幌

日本計画行政学会の第33回全国大会が札幌市内の札幌大学であった。遍路道の美化活動への取り組みが2009年度同学会計画賞の最優秀賞に選ばれた徳島市のNPO法人・徳島共生塾一步会の新開善二理事長(73)の写真が活動報告した。

多くの人の協力で美しくなった。遍路道をぜひ歩いてほしい」と呼び掛けた。大会は10日から3日間開かれ、全国の大学教授ら約300人が参加。受賞団体の活動発表のほか、「人口減少時代の地域政策」をテーマにしたシン

ポジウムがあった。



ポジウムがあった。

新開理事長は、6年間にわたる取り組みでいる

「地域住民や行政の力の結集」と強調。地域と行政をつなぐNPO法人の役割の重要性を訴えた。その上で「最優秀賞をいただいたことが話題となり、さらに活動の輪が広がった」として表彰している。